

別子山の南側 足谷川沿いの谷に旧別子銅山跡が埋まっている また、別子山の稜線を越えて北の新居浜へ銅を運ぶ銅の道があった 2012.10.27.

この別子銅山が近代化される前 別子山の南北両側の銅山をつなぎ、最短距離で新居浜の港までを結び、銅山の隆盛を支えた銅の道「銅山越・泉屋道」があった。

銅山を経営する泉屋（住友）によって建設され、銅山の隆盛を支えた「銅の道-銅山越・泉屋道-」別子銅山の近代化以前 別子山の稜線を越えて南北両側の銅山をつなぎ、さらに最短距離で新居浜の港まで人馬一体となって銅鉱石を運んだ「銅の道」である

煙害で丸裸になった四国別子銅山の別子山は 100 万本を越える植林推進と約 100 年近くを経て 今 緑の山が復活。旧別子銅山跡の産業遺産が自然の森の中に埋まっている。

別子山の稜線を越えて 南から北へ伸びる銅山越の銅の道は今も古き旧別子銅山跡を巡り、別子山を訪ねる静かな登山道として整備され、緑の森の中に健在。私にとっては念願の別子山銅山越 Walk。 前日 松山へ行った帰りにあわせ、全山紅葉に彩られた 10 月 27 日この銅の道を歩きました。

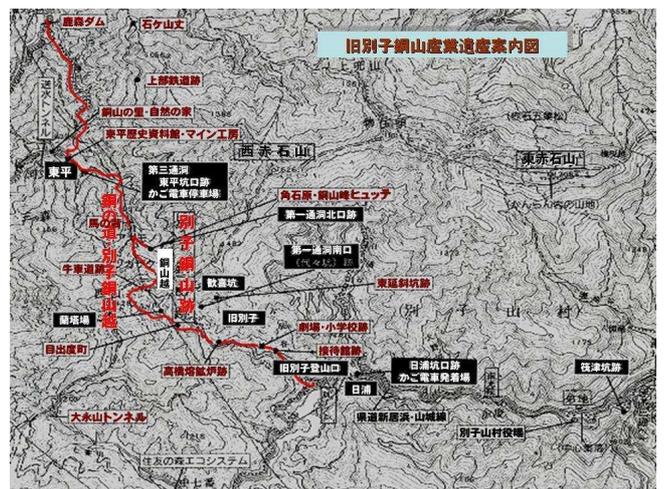
紅葉の山中に埋まる旧別子銅山。かつて、亜硫酸ガスで丸裸になっていた山々 そして旧別子 別子山村の役場もあった大集落や・大銅山の鉱山諸施設などの産業遺産がこの山中に点在していたとは信じがたい。今は別子の自然の中に溶け込んで「東洋のマチュピチュ」と呼ばれる素晴らしい景観を作っている。

以前 2005 年秋別子銅山記念館・別子マイントピアを訪れた時に、タクシーで銅山越登山口まで行ったのですが、交通事情が悪く、残念ながら旧別子銅山跡を訪ねる銅山越ができず、タクシーでそのまま戻りました。私にとっては念願の別子山銅山越 Walk。別子山南側日浦登山口から別子山稜線「銅山越」に登り、新居浜側「東洋のマチュピチュ」と呼ばれる別子銅山東平を経て、鹿森ダムサイト登山口まで 紅葉した谷に沿って続く銅の道 旧別子銅山の遺構 集落跡や銅山諸施設の産業遺産をゆっくりながめながらの walk。 念願の別子銅の道・銅山越を踏破しました。

別子山銅の道 Walk の道々でデジカメに撮り、スライド動画の映像資料にしましたので、少し大部ですがご覧ください。なお 最近住友林業（株）の TV コマーシャルにこの旧別子銅山跡が自然再生の森として紹介されています。



東洋のマチュピチュと呼ばれる旧別子銅山「東平」地区





東平第三通洞北口



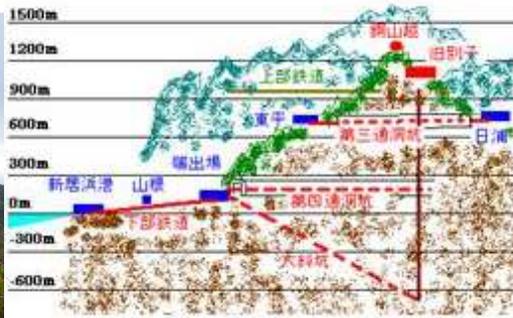
東平貯鉱庫跡



東平索道の停車場



東平歴史資料館・マイン工房



別子山 銅山越



足谷集落跡



足谷 小学校跡

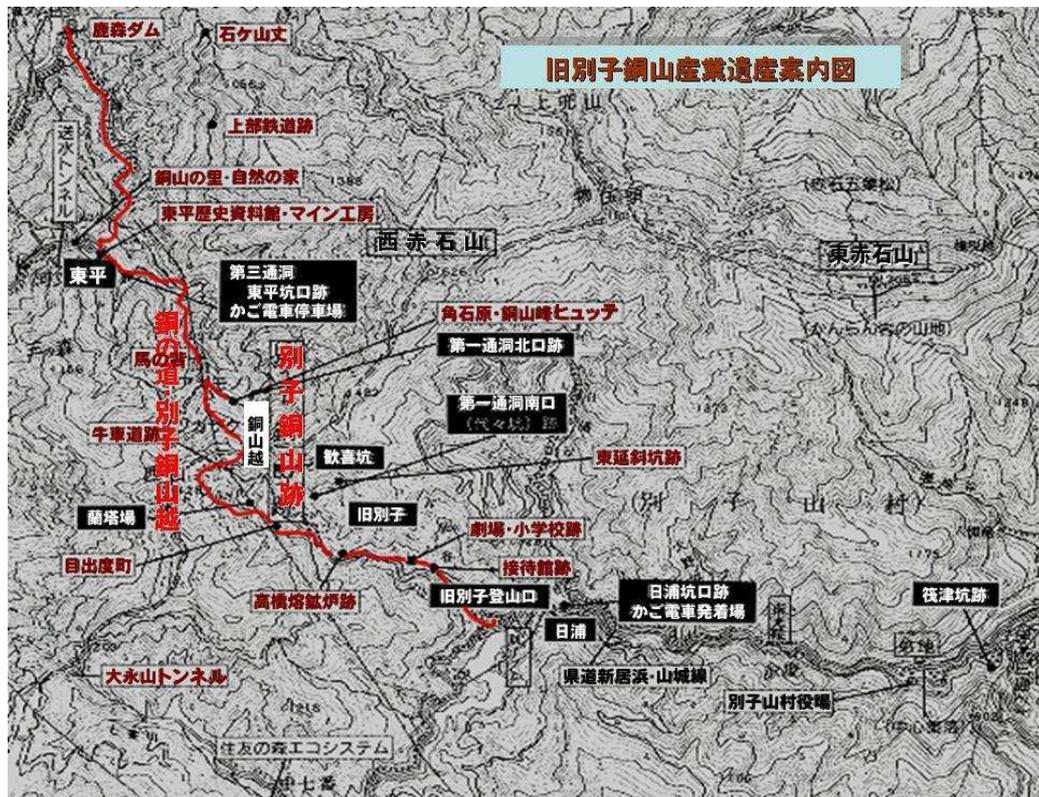


高橋製錬所跡



銅山越/目出度町 牛車道

東西に伸びる別子山の南北両側の山腹・谷に広がる旧別子銅山の産業遺産



【参考】Country Walk・風来坊 2005年11月
「四国北岸を東西に貫く大断層「中央構造線」Walk
- 赤石山系 別子銅山の山郷 別子山村 -
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/walk/4walk10.pdf>



1. 新居浜駅から地域バスで国領川沿いを南側の旧別子銅山跡登山口日浦に向かう



国領川沿いの別子ライン渓谷をまっすぐ北に溯るとそこはもう旧別子銅山の領域 鹿森ダムからジグザクによって大永山トンネルを抜けて別子山村側へ



大永山トンネルを抜けると紅葉した銅山川渓谷 川向こうには四国脊梁石鎚山脈の岩峰が建ち並ぶ 別子ダム湖が見るとまもなく日浦の登山口

2. 別子山村日浦登山口から足谷川沿いの渓谷沿い旧別子銅山跡をたどって 別子山の頂 銅山越へ



鋼の道(1) 別子山村日浦登山口入口周辺



鋼の道(2) 小足谷集落周辺 円通寺跡・小足谷集落跡・接待館跡



鋼の道(3) 小足谷集落周辺 小学校・劇場・小学校



銅の道(4) 紅葉が美しい足谷川の渓谷 渓谷に沿って北の別子山の稜線銅山越へと銅の道が続く



銅の道(5) 旧別子の中心地 製錬所(熔鉱炉)があった高橋(1) 谷筋の対岸に見える製錬所跡の石垣



銅の道(6) 旧別子の中心地 製錬所(熔鉱炉)があった高橋(2) ダイヤモンド水の広場には木炭倉庫や製鉄課 対岸に焼鉱炉



銅の道(7) 高橋周辺の谷筋 紅葉した渓谷が美しい。すぐ上の橋で 谷を渡って寛政谷から銅山越へ向かう道とそのまま山腹を目出度町から銅山越へ行く道の分岐点 銅山越はもうまじかかつては鉱石を焼く煙・重硫酸ガスで山は丸裸 今産業遺産となった諸施設は自然の中にうずまっている



銅の道(8) 目出度町 対岸の木部の集落跡を眺めながら山腹を幾つか枝谷を渡ると旧別子の中心 目出度町 明治になるとこの目出度町から銅山越へ牛車道が開通する 大山神社や重任局がおかれ、別子山村の役場 住友の接待場 街には学校・郵便局・料亭が軒を並べ、病院もあったという。



銅の道(9) 目出度町から銅山越下の牛車道へ

林の中の目出度町跡を抜け、送電鉄塔沿い尾根筋に登ってゆくと視界が開けてくる登ってきた谷筋の紅葉が美しく、周囲の山々が遠くまで見晴らされる。そして、不意に広い牛車道に合流した



銅の道(10) 銅山越下の牛車道

登ってきた美しい谷筋の景色を眺めながら牛車道を登る。旧別子銅山の産業遺産が、この紅葉した谷筋の森の中にうずまっている

3. 別子山頂上稜線 銅山越



銅の道(11) 別子山 銅山越



4. 銅山越から馬の背を下って東洋のマチュピチュと呼ばれる「東平」旧別子銅山跡へ



銅の道(12) 角石原

銅山越から新居浜側へ下った別子銅山の別子新居浜中心地のひとつ。今は広場に銅山ヒュッテが建つ。明治になると角石原を通過して、石西赤石山の山麓から、柳谷川の谷の上方を石丈ヶ山へ下る牛車道が開通し、さらに第一通洞が開通すると角石原と石丈ヶ山を結ぶ上部鉄道が開通する。



銅の道(11) 新太平坑坑口に立寄ったあと馬の背・泉屋道を旧別子銅山「東平」下る

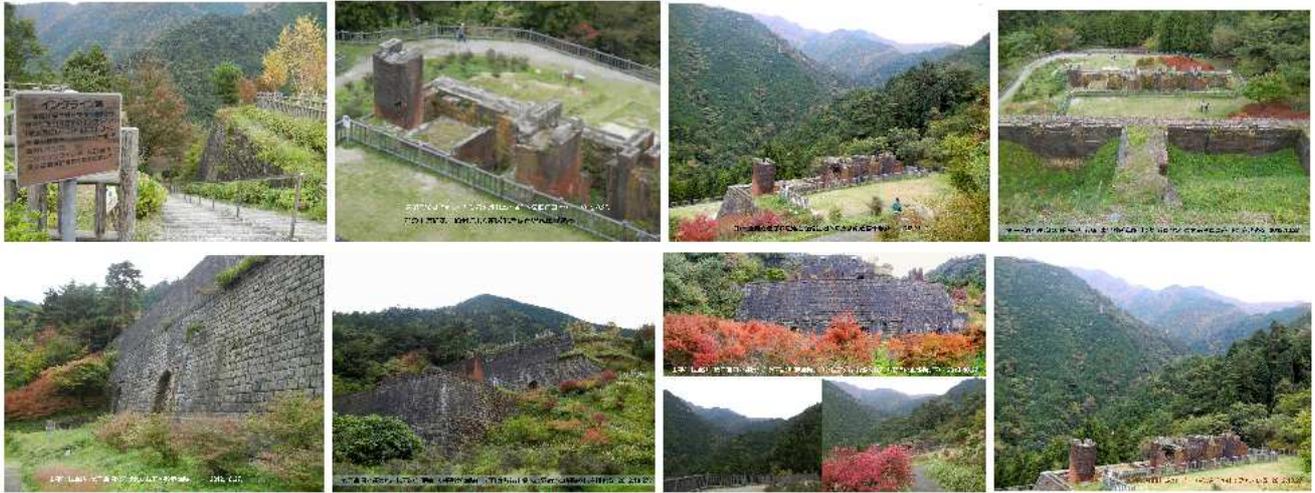
5. 東洋のマチュピチュと呼ばれる第三通洞を通じた旧別子銅山輸送の中心「東平」地区



銅の道(12) 東平(1) 第三通洞・かご電車 鉱床がどんどん深くなり、この東平から第三通洞が別子山村側日浦まで通じた。また、ここから索道で下に鉱石を輸送する新しい輸送システムが開通。一般の人をも乗せるかご電車も走り、別子山村側と新居浜を結ぶ大塔脈となった。



銅の道(13) 東平(2) 今の中心 東平歴史資料館・駐車場・メイン工房 現在、新居浜と別子山村を結ぶ別子ラインの奥鹿森ダムの横から行き違いが厳しいが、東平へ登る車道を通じ、車だどと気楽に??? 東平まで、はいれるようになっている。



鋼の道 (14) 東平の象徴旧別子銅山の産業遺産群 インクライン・索道停車場・貯鉱庫

6. 東平からかつての生活道 旧道を鹿森ダム遠登志登山口を下る



鋼の道 (15) 東平から旧道を鹿森ダム遠登志登山口を下る



鋼の道 (16) 鹿森ダム 遠登志登山口周辺



鋼の道 (16) 鹿森ダム 遠登志登山口周辺



前回別子を訪れたときには、交通事情の心配で、銅山越の道をたどれなかった念願の別子山銅山越。ここに有名な別子銅山が本当に会ったのかと疑うほどに、その集落跡・諸施設産業遺産が、紅葉した別子の自然の中に溶け込んで、新しい景観を作っていました。当初、天候と交通手段の不安一杯のスタートでしたが、いろんな人にも出会え、楽しい銅山歩き。前回はビックリしたのですが、別子山村・銅山越の紅葉は素晴らしい。へとへとになりましたが、満足の銅山越Walkでした。

2012. 10. 27. 夕 別子ラインを新居浜へ 帰りのタクシーの中で

鋼の道 (17) 新居浜駅 新居浜駅まで戻った時はもう夕闇、別子の山のシルエットが駅の向こうにみえました

【参考】Country Walk - 風来坊 2005年11月
 「四国北岸を東西に貫く大断層「中央構造線」Walk
 赤石山系 別子銅山の山郷 別子山村
<http://www.infokkns.com/ironroad/dock/walk/4walk10.pdf>